

Europe Indicators

発表日:2022年9月14日(水)

欧州経済指標コメント:9月英国労働統計

～失業率低下+賃金上昇加速+求人減少=利上げ幅は?～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

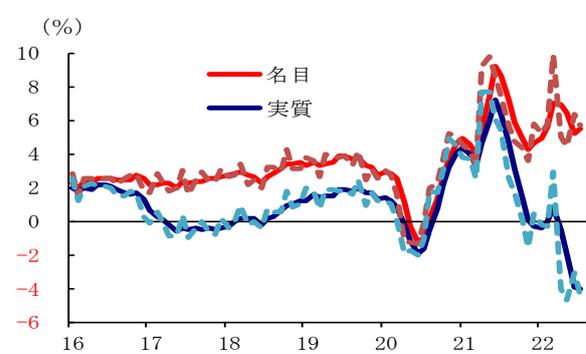
- 13日に発表された英国の労働統計では、労働力調査ベースの失業率が7月までの3ヶ月平均で3.6%と前月(3.8%)から低下、コロナ危機以前の水準を下回り、1973年12月と1974年1月に記録した統計開始以来の過去最低(3.4%)に迫っている。7月単月では3.55%と同一サンプルの4月(4.13%)を大きく下回った。
- 5～7月の非労働力化率が21.7%と前月の21.4%から上昇。労働市場からの退出者の増加が失業率の低下につながっている。5～7月の就業者は3ヶ月前対比で3万9千人増加したが、依然としてコロナ危機前のピークを32万7千人下回っている。5～7月の求人情件数は3ヶ月前対比で3万4千人減少。コロナ第一波終了後の2020年8月以来、一貫して増加してきたが、2ヶ月連続で減少し、求人にやや翳りがみられる。
- 全産業の賞与を含む時間当たり賃金は、7月までの3ヶ月平均で前年比+5.5%と、前月の同+5.2%から僅かに加速。上昇加速を牽引したのは賞与を除く賃金。5～7月の賃金は同+5.2%と前月の同+4.7%から加速。昨年12月の同+3.7%をボトムに賃金上昇が再加速している。物価高騰で実質賃金はマイナス圏での推移が続いているものの、賃上げ圧力が高まっている。

■英国:失業率



注:労働力調査基準は3ヶ月移動平均 出所:英国統計局

■英国:週当たり賃金・賞与(全産業、前年比)



注:実線は3ヶ月移動平均値 出所:英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

	2021				2022							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
失業率(失業給付、%)	5.2	5.0	4.9	4.7	4.6	4.4	4.2	4.1	4.0	3.9	3.9	3.9
失業給付件数(前月差、千人)	-83	-63	-66	-62	-55	-58	-82	-66	-35	-27	-15	6
失業率(労働力調査、%)	4.3	4.2	4.1	4.0	4.0	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.6	—
(単月の失業率、%)	3.96	4.10	4.18	3.87	3.84	3.80	3.51	4.13	3.66	3.59	3.55	—
就業者数(3ヶ月前差、千人)	289	174	72	-25	-53	5	65	177	297	160	39	—
週当たり賃金(産業計、前年比、%)	5.9	4.9	4.2	4.6	4.9	5.6	7.0	6.9	6.4	5.2	5.5	—
賃金	5.0	4.3	3.8	3.7	3.8	4.1	4.2	4.2	4.4	4.7	5.2	—
ボーナス	28.3	20.2	13.2	17.8	17.8	26.5	29.4	30.1	15.8	11.3	9.1	—

注:労働力調査基準の失業率、週当たり賃金は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所:英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。